

ご担当医各位

はらメディカルクリニック
院長 原利夫
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-10
電話 03-3356-4211
医療連携 03-5363-4815
担当：関口・中山・荒井

貴院患者の胚移植周期「子宮内膜再生増殖法 ERP」の許可願い

平素より各医療機関の先生方にはお世話になっております。

本状を持参された患者は、不妊治療は引き続き貴院で実施していただき、胚移植周期の予定排卵 2～5 日前に「月経血幹細胞培養上清液の注入」（治療名：子宮内膜再生増殖法 ERP）を当院で実施させていただきたく存じます。ご許可いただける場合は、別紙「ERP 治療実施許可承諾書」にご署名いただき患者にお渡しいただけますようお願いいたします。

■子宮内膜再生増殖法 ERP について

本法は、月経期に自己月経血を採取し、自己血清を用いて月経血由来子宮内膜幹細胞の培養後培養上清液を生成し、胚移植周期の予定排卵 2～5 日前に子宮に注入する治療。

【Abstract】

不妊治療患者の月経血及び血清を用いて、月経血由来子宮内膜幹細胞の培養方法及び培養上清液の作成方法の確立、上清液注入による内膜厚増加の確認。

【Methods】

培養細胞同定は、FCM・光学顕微鏡・分化誘導にて検証した。培養上清液含有成分因子は ELISA 法を用いて、Growth factor・Cytokine などの定量を行った。

【Results】

月経血由来子宮内膜幹細胞の培養方法を確立し、培養細胞の同定及び培養上清液内の成分因子の解析。有効成分因子として IGF-1 が最も有力であり細胞増殖に関与していることを解明した。

【Conclusion】

自己月経血及び自己血清を用いた、月経血由来子宮内膜幹細胞の培養法及び培養上清液の注入は内膜厚の増加及び胚の着床に有効であることを確認した。培養上清液内の有効成分因子を IGF-1 と定めた。

- ・本研究はプレスタディから臨床実施まで行い明らかな副作用はみとめられませんでした。万が一予期せぬ副作用など出現時には当院にてバックアップいたします。
- ・本研究は、2016 年開始のはらメディカルクリニックと幹細胞培養 CPC との共同研究です。
- ・2017 年に先端医療推進機構倫理委員会の承認を得ました。
- ・現在 journal 投稿中です。
- ・上清液成分につきましてはお問合せください。

ERP 治療実施許可承諾書

はらメディカルクリニック

院長 原 利夫 殿

患者氏名

が貴院にて子宮内膜再生増殖法 ERP を実施することを了承いたします。

年 月 日

医療機関名	
ご担当医名	